



Atsuko Tanaka
—田中敦子—

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

NABEKURA

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

OSAKA・TOKYO





プロフィール

おだがきくにみち（豊岡市出身）
兵庫県立姫路工業大学機械工学科卒。1977年
（株）本田技術研究所入社。四輪車車体設計担
当。'88モデルCIVICプロジェクト・リーダー、'91モ
デルLEGENDプロジェクト・リーダー、'95モデル
ODYSSEYラージ・プロジェクト・リーダー（LPL＝
開発責任者）。1997年からLPL室チェアマン。
趣味はスキー、テニス、JAZZ。



10年前のある夏の日、私は上司から
の一本の電話を受けました。

「君にミニバンの開発を任せたいので、
すぐにメンバーを集めてアメリカへ調査
に行ってもらいたい」という内容でした。

当時の日本にはミニバンという概念
はなく、RVのはしりの頃でしたが、ア
メリカではミニバンが人気商品になっ
ていました。

早速、アメリカに渡ってミニバンを日
常的に使いながら調査を続けているう
ちに、私はすっかりミニバンが気に入っ
てしまい、見た目の豪華さや高性能と
いうよりは、生活を豊かにする道具と
して車を使う文化をぜひ日本にも導入
したいと考えるようになりました。

私の住んでいる栃木県宇都宮市から、
実家のある豊岡市まで片道850kmの
道のりを、毎年2〜3回往復している
私にとってミニバンは、家族の移動に最
適な道具に感じられ、私と同様に遠く
に郷里を持つチームメンバー達も、同
じように感じ始めていました。

そこで、今度は日本でも徹底的に走

り回って郷里に向かう「幸せ家族の移動
車『ODYSSEY』」の企画を煮詰めて
いったのです。

しかし、私達の考えていた車が、指
示されたミニバンとは異なる新しい形
態の車だったので、途中何度も企画が
ボツになりそうになりました。

但馬人は粘り強いといわれますが、
美しい自然に恵まれながらも年中雨や
雪が多く、晴れる日の少ない環境の中
で育ったおかげか、但馬を離れて30年
近い年月が経っていても、私の心の中
に但馬人気質は脈々と生き続けていて、
誰もがもう開発中止だと思ったところ
から、何度か復活させ生産に結び付け
ることができました。

これからも、新しい交通施設や、文
化施設、大規模商店ができるなど、住
み良い地域社会を目指してどんどん工
ネルギッシュに発展していく但馬の姿
に学びながら、エンジニアとして少しで
も多くの方々に喜んでもらえるよう頑
張りしたいと思います。